

わかば福祉ネットワークバス研修会

平成 31 年 3 月 14 日

平成 30 年度わかば福祉ネットワーク研修会は、市バスを利用して香取佐原地区を訪問。平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、佐原地区にも甚大な被害を与えました。しかし、地域住民の心が一つになり伝統ある町並みを復興。

今回は佐原地区を見学し、地域の力の大きさ、地域コミュニティの大切さを体感することを目的とした企画です。

参加者は「町並み交流館」などを見学し、佐原の人々が「自分たちの力で、自分たちの地域を盛り上げる」と一丸となって復興にあたった展示に見入っていました。

また、参拝に立ち寄った香取神宮でも、参道の灯籠が倒れるなどの被害があったそうですが、見事に復活。住民の郷土愛に心打たれました。

災害時のみならず、通常からの地域の連携の重要性を痛感しました。これからも、地域の持つ力を最大限活かせる小域福祉ネットワークを目標に、情報発信をしていきます。

震災当時の記録から



倒壊した建物と灯籠



見事に復活した建物と灯籠



香取神宮本殿前での記念撮影